

外国語科 4～6段階

外国語科の目標

小学部	
中学部	外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる。
高等部	外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や外国への関心を深める。

内容の構成（観点の構成）

小学部相当	1段階					
	2段階					
	3段階					
中学部相当	4段階	英語とその表現への興味や関心		英語での表現		8 2
高等部相当	5段階	会話	読む・書く	語や句	文の意味	8 2
	6段階					8 2

外国語科の内容としては、英語を扱っている。

英語以外の外国語を扱う場合は、英語の内容に準じることとしている。

外国語 4, 5, 6段階

観点 段階	英語とその表現への興味や関心		英語での表現		
	内容	指導内容	内容	指導内容	
4 段階	身近な生活の中で見聞きする英語に興味や関心をもつ。	○学校や家庭など、生徒の毎日の生活場面で、よく見たり、聞いたりする英語の文字、単語、名称、話し言葉や様々な表現があることに気づき、使ってみようとする。	簡単な英語を使って表現する。	○英語であいさつを交わす。	
		○アルファベットを使ったゲームをする。		○簡単な動作を表す言葉を英語で話す。	
		○簡単な英語の歌を聞いたりして楽しむ。		○自分の名前を紹介する。	
		○生活で使う用具、機器、パンフレット、新聞等に使われている簡単な語を扱う。		○ゲームの中で使われるアルファベットや簡単な語の発音を聞く。	
		○ビデオやDVDで初歩的な英語を扱った教材等を見る。		○英語を使って身近な物品を言ったりする。	
		○コンピュータで英語の文字当てゲームをする。		○アルファベットや簡単な語を書くことに興味をもち、なぞりがきをする。	
		○外国のテレビ番組や物語などに興味をもち、それらを見て楽しむ。 ・外国の人々と一緒に楽しく活動したり、ゲームをしたりして触れ合う。			
観点	会話		読む・書く		
5 段階	簡単な英語を使って表現したり、やりとりしたりする。	○身近な生活場面でよく使う語、句、文を使って、あいさつを交わしたり、聞かれたことに答えたり、気持ちを表したり、好きなことを言ったりするなどして、意思を表現したり、互いの意思を伝えあったりする。 ・外国の人々と交流し、簡単な英語で答えようとする。 ・英語の歌を歌ったりする。 ・簡単な英語で表現したり、やりとりをしたりする。	簡単な語、句、文に興味や関心をもつ。	○日常生活の場面でよく使われる人や物、数、月、曜日、時間、場所や動作を表す英語の語、句、文を読んで発音したり、自分の趣味や行動を書いたりして、語、句、文に興味・関心をもつ。 ○簡単な英語の単語や句を聞き分けたり、つづりを見分けて同じものを探したりする活動を通して、読むことに興味・関心をもつ。 ○文字探しのゲームなどで英語の読み書きに十分慣れる。 ○コンピュータのアルファベットのキーに親しみ、語や句を打ち込むことによって、書くことに興味・関心をもつ。	
		○初歩的な英語を使って簡単な会話をする。		簡単な語、句、文を書いたり読んだりする。	○簡単な英語の文章の中で使われている単語や句のつづりを見て読む。 ○文に出てくる語や句、また短い文を書いたり、読んだりする。 ・外国の人に自分のことを紹介する簡単な手紙を書く。 ・外国の生活の様子や簡単な物語が書いてある文章等を読む。
		○日常生活や社会生活の様々な場面で意思を伝えるために必要な語、句、文を使って、相手の話の要点を聞いたり、自分の気持ちを伝えたりする。 ・地域に住む外国人と積極的に交流を行い、日常生活の様々な場面で用いる初歩的な英語を使って簡単な会話をする。 ・会話に必要な適切な発音、文法にも関心をもつ。 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする。			
6 段階					

観点	語や句、文の意味	
5段階	日常生活の中で見聞きする語や句の意味を知る。	<p>○ふだんの生活で、よく使われている英語や、あるいは地域や社会生活の中で使われていて、生徒の目に触れやすい英語の語や句が表している内容を知る。</p> <p>○パンフレットや新聞などでよく使われている国の名称の英語表記、看板や標識、生活の様子を表す語などの意味が分かる。</p> <p>○分からない単語が出てきたら簡単な辞書で調べる。</p>
	簡単な語、句、文の意味を知る。	<p>○日常生活や社会生活で多く使われる会話や文に見られる語や句、文の内容を理解する。</p> <p>○好きなことや食事などに関する単語や文、生活用品や家具など家の中で見られる物の名称、社会生活の中で見られる乗り物、建物、店の名称等の語、自分の気持ちや動作を表す語、句や文、またそれらを含んだ簡単な手紙の説明、会話等の文の意味が分かる。</p> <p>○分からない単語や句、文の意味を辞書で調べることに慣れる。</p>
6段階		

情報科 5段階～

情報科の目標

小学部	
中学部	
高等部	コンピュータ等の情報機器の操作の習得を図り，生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を育てる。

内容の構成（観点の構成）

小学部相当	1段階						
	2段階						
	3段階						
中学部相当	4段階						
高等部相当	5段階	情報やコンピュータ等の情報機器の役割	機器の操作	ソフトウェアの操作と活用	通信	情報の取り扱い	85
	6段階						85

観点	情報やコンピュータ等の情報機器の役割		機器の操作	
段階	内容	指導内容	内容	指導内容
5 段階	日常生活の中で情報やコンピュータ等の情報機器が果たしている役割に関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器や通信機器が日常的に使われていることに気付くことができる。 ・情報機器や通信機器からえられる情報が日常生活にかかわりをもっていることが分かる。 ・情報が生活の利便性や質を高めていること、その情報がコンピュータ等の情報機器や通信機器等によってもたらされていることから、情報と機器との関係に気付き、生活の役に立っていることを知ることができる。 ・テレビ放送やラジオ放送、情報通信ネットワーク、卓上電話機や携帯電話などを活用し、情報を入手することができる。 ・情報によって日常生活が便利になっていることが分かる。 ・得られた情報をもとに、衣・食・住の生活や余暇を豊かにしていくことができる。 	コンピュータ等の情報機器に関心をもち、簡単な操作をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ等の情報機器には起動から終了までの操作に所定の手順があることなどが分かり、実際に行うことができる。 ・コンピュータ入門に関するソフトウェアなどを利用し、オフラインで操作することができる。 ・グラフィックソフトウェアで絵や模様を描いたり、音楽ソフトウェアで演奏を聴いたりすることができる。 ・日記を書いたり、学級名簿や、学級費を入力したりして、機器の操作方法や機能に関心をもつことができる。 ・複写機やファクシミリなどの機器について、実際の用務の経験を通して操作に関心をもつことができる。
6 段階	生活の中で情報やコンピュータ等の情報機器が果たしている役割を知り、それらの活用に関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の場面から公共の機関や施設、銀行や商店、様々な産業現場など社会生活全般にわたってコンピュータ等の情報機器や通信機器が活用されていることに関心をもつことができる。 ・交通機関の利用、区や市町村の役所での諸届や証明書の発行、金融機関における預金の預入れや払戻しの手続などがコンピュータ等の情報機器の操作により利用できる。 ・図書館や書店では館内の案内や図書の検索ができる。 ・製造機械の操作や生産物の管理など、身近な生活環境や社会におけるコンピュータ等の情報機器の活用の状況を知り、その役割などに関心をもつことができる。 	コンピュータ等の情報機器の扱い方が分かり、操作する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ及びその周辺機器や、ファクシミリなどの通信機器などの基本操作が分かり、実際に扱うことができる。 ・文字や記号を加工して表示をつくったり、見舞状や年賀状を作成したり、デジタルカメラで撮影した画像を取り込んだ名刺を作成したりすることができる。 ・コンピュータ等の情報機器やその周辺機器の基本操作の習熟と目的に合ったアプリケーションソフトウェアを活用することができる。 ・機器の名称や操作を表す言葉などを覚え、入力と画面表示の関係や印刷との関係などを理解して、実際に活用することができる。 ・プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器の基本操作が分かり、実際に使う画像やデータの保存、印刷などの入力、出力及び機器の保管・管理などができる。 ・主電源の接続・切断時の感電やショートに注意し、機器操作の習得と併せて、電気の安全な取り扱いができる。

観点 段階	ソフトウェアの操作と活用		通信		情報の取扱い	
	内容	指導内容	内容	指導内容	内容	指導内容
5 段階	各種のソフトウェアに関心をもち、実習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・文書、表計算、手紙、調理、国語辞典、百科事典、図鑑、旅行、地図、ペイント、音楽、フィットネスなどのアプリケーションソフトウェアに関心をもち、実際に活用してみる。 ・手紙のソフトウェアを使って、簡単な文字入力をしたり、カットを入れたりして、学校行事の案内、依頼状、礼状などを作成する。 ・事典や地図のソフトウェアを使って、課題を調べたりする。 	<p>コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理及び発信に関心をもち。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークに接続してホームページを閲覧したり、LANなどを利用して、電子メールの送信・受信を経験したりして関心をもち。 ・交流及び共同学習の相手校などのホームページを開いたり、代表的なホームページを開いて必要な情報を閲覧したりする。 ・情報通信ネットワークに電子メールの送信・受信機能があることを理解する。 ・校内LANなどを利用して通信のやりとりを経験する。 ・情報通信ネットワークに接続する手続として、パスワードがあり、ホームページの閲覧や電子メールのやりとりにアドレスがあることなどを知り、これらの管理に関心をもち。 ・電話やファクシミリを活用することができる。 ・必要に応じて、携帯電話を使用して、通話や電子メールの送受信の基本的な操作方法がわかる。 	<p>情報の取扱いに関するきまりやマナーがあることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークを通じれば、素早く、適切な情報を収集することができる反面、不適切な情報を収集したり、有害なサイトにアクセスして、トラブルに巻き込まれたりすることがあることがわかる。 ・電子メールの活用や掲示板への書き込みに当たっては、節度ある表現による発信、パスワード、アドレス等の個人情報の管理が重要であることに気付く。
6 段階	各種のソフトウェアの操作に慣れ、実習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種のソフトウェアの扱いに習熟し、実際の生活や作業場面で活用する。 ・生徒が表計算ソフトウェアを使って、生産した工業製品や農産物などについて数量や販売価格の管理をしたり、計算したりする。 ・文書ソフトウェアと周辺機器のデジタルカメラなどを組み合わせて、日記を書いたり、学校広報や学級新聞を作成したりする。 ・旅行用のソフトウェアを使って、校外学習の目的地までの経路や距離、交通機関や利用料金などを調べる。 ・調理用のソフトウェアを使って、調達する材料の種類や必要量、献立の栄養や一人当たりのカロリーなどを調べたり、手順を知って調理したりする。 ・情報の保存や印刷も併せて行うことができる。 	<p>コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理及び発信の方法が分かり、実際に活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークに接続し、必要な情報を検索し取り出して生活に役立てたり、学校のホームページから学校行事や学習活動の様子などを発信したりする。 ・交流及び共同学習の一つとして、電子メールを使い、他の学校と交信したり、様々な事項の照会や調査をしたりして、学習活動に役立てる。 ・電話やファクシミリを利用して、生活に必要な資料の請求、物品の購入申込み、諸活動への参加申込み、文書などの送信等を行い、生活に活用することができる。 ・必要に応じて携帯電話の適切な使用方法や管理方法がわかる。 ・情報通信ネットワークの接続に必要なIDやパスワードなどの個人認証は、キャッシュカードやクレジットカードなどと同様に個人情報として、適切に自己管理するものであることが分かる。 ・情報を保存したメディア等についても大切に保管・管理するものであることを理解できる。 	<p>情報の取扱いに関するきまりやマナーを理解し、それらを守って実習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの活用にあたって、節度ある表現で発信できる。 ・パスワードやアドレスなどの個人情報の管理をする。 ・情報通信ネットワークの活用にあたって、必要な情報と不必要な情報、道徳性に欠ける情報について判断できる。 ・情報通信ネットワークを活用した検索等における情報の収集、情報のダウンロード、電子メールが効果的に活用できる。 ・必要に応じて、携帯電話の利用に関しても、同様のきまりやマナーがあることが分かる。 ・ファクシミリの取扱いについても、送付状の作成など基本的なマナーを守るようにする。